

第5回円空大賞円空賞

浜田知明（はまだちめい）

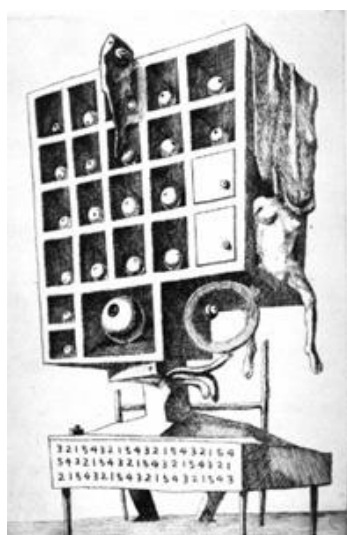
プロフィール

- 1917年：熊本県上益城郡御船町に生まれる
- 1939年：東京美術学校油画科卒業
- 1956年：第2回現代日本美術展佳作賞受賞、第4回ルガノ国際版画展次賞受賞
- 1960年：第4回現代美術展優秀賞受賞
- 1962年：第2回福島賞受賞
- 1964年：渡欧
- 1965年：帰国、フィレンツェ美術アカデミー版画部門名誉会員となる
- 1975年：浜田知明銅版画作品 1938-1975 展(北九州市立美術館)
- 1979年：浜田知明銅版画展(熊本県立美術館)、個展 (アルベルティーナ国立素描版画美術館、グラーツ州立近代美術館・オーストリア)
- 1980年：浜田知明銅版画展(神奈川県立近代美術館)
- 1989年：フランス政府より芸術文化勲章(シュヴァリエ章)受賞
- 1993年：浜田知明展(大英博物館・日本館主催)
- 1996年：浜田知明の全容展(富山県立近代美術館、下関市立美術館、伊丹市立美術館)
- 2000年：浜田知明-彫刻による諷刺展(神奈川県立近代美術館)
- 2001年：浜田知明展(熊本県立美術館)、ゴヤ・浜田知明展(駒ヶ根高原美術館)
- 2004年：浜田知明新作彫刻展(熊本市現代美術館)
- 2006年：浜田知明彫刻・版画展(本間美術館/山形)
- 2007年：ウフィツィ美術館にて版画 19 点が収蔵されることになり、同館で収蔵記念展



選評

浜田知明氏は版画家でもあり立体造形家でもあるが、彼のもっともすぐれた作品は「初年兵哀歌」シリーズであろう。おそらく若き日に初年兵の苦しみを体験したのであろう。その体験を彼は悲しくユーモラスな作品にみごとに結晶させ、観る者をして、かつて日本に間違いなく存在し、今もまたどこかに存在しているかもしれない悲惨で滑稽な世界に誘う。戦争体験の風化が心配されるこのごろである。浜田氏の芸術を遍く日本人に知らせることが、二度とあの悲劇を起こさせないためにも必要であると私は思う。



副校長D氏像 (1956年制作)
熊本県立美術館



かげ・見えない壁 (2002年制作)
熊本県立美術館



悩ましい夜 (2000年制作)
熊本県立美術館



ボタン (B) (1988年制作)
熊本県立美術館



初年兵哀歌 (歩哨) (1954年制作)
熊本県立美術館